



令和2年

12月21日(月)

【No. 9】

2020年が終わろうとしています。今年は、みなさんにとって、“小学生から中学生になる”という、節目の年でした。しかし、そのような大事な年が、新型コロナウイルスの影響で様々な活動に制限がかかり、辛い思いや残念な思いをしたことがたくさんあったと思います。



でも、そんな中、みなさんは中学校生活をしっかりと送り、もうすぐ2学期を終えるところまで進んできました。新しい年は、すぐそこまできています。来年は、今年よりも、さらに明るく良い年にしていけるといいですね。

それでは、みなさんにとって節目の1年間を振り返っての作文を紹介します！



## 『私の5大ニュース』

### 第5位「私の家の金魚が7歳になった！」

私が年長のときに金魚すくいでもらった金魚が、今年で7歳になりました。すくったときは4センチほどだったのですが、今は10センチをこえるほどに大きくなりました。見た目はフナですが、今も私たち家族は金ちゃんを見ていやされています。

### 第4位「『はてしない物語』をもらった！」

『はてしない物語』という本をもらいました。それに、文庫本ではなく、あかがね色に尾をかみ合っている2匹の蛇の模様の表紙のものでした。外見だけでなく、お話もとてもおもしろいので読み返しています。

### 第3位「コロナの影響でライブにいけなくなった」

新型コロナウイルスの影響で、とても楽しみにしていたTWICEのライブが中止になってしまいました。長い間、楽しみにしていたので、中止と発表されたときはとても悲しかったです。

### 第2位「小学校を卒業し、中学生になった！」

今年の3月に、大きく短縮された形ですが、卒業式を行い小学校を卒業しました。中学校の入学式は、新型コロナウイルスの影響で、2ヵ月ほど遅れて行われました。大事な式を、短縮させた形でしたが、行うことができて良かったです。

### 第1位「水泳をやめ、部活に入った！」

今年で、私の中で大きかったニュースは、13年続けていた水泳をやめ、吹奏楽部に入部したことです。はじめは部活には入部しない予定だったのですが、少し気になっていた吹奏楽部に仮入部したときに、楽器を吹くことがとても楽しく、入部したいと思いました。

しかし、入部すると、水泳をやめなくては勉強が大変になるので、とても悩みましたが、新しいこともやってみることにし、入部しました。

今年は、私にとって、大きな変化がたくさんあった年だったと思います。来年も変わらず、チャレンジすることを楽しんで過ごしたいです。

#### A 組

●「A組の作文は『5大ニュース』の形式で楽しいですね。この1年、残念だったことも嬉しかったこともあったようですが、来年も前向きな姿勢で頑張っていきましょう！」

#### 『2020の振り返り』

2020年、この年は私が生きている13年間の中で、最も記憶に残る年でした。1月1日から始まったこの1年間で起きたことを思い出してみると、毎日様々な出来事があります。

一つは、新型コロナウイルス感染症です。今も世界中で感染拡大しているこのウイルスは、私たちの生活に大きな影響を与えました。例えば、3月から始まった休校です。卒業式を目前に始まった休校期間では、友達に会うこと、旅行に行くことなどができない状況で、私は少しでも成長できるようにお菓子作りや、英語の勉強など様々なことをしました。私は、たくさんの時間がないとできないことを経験したので、新たな一步を踏み出すことがこの期間でできました。

二つ目は、中学校入学です。とても短縮されてしまったが、小学校の卒業式も無事に終え、中学校に6月から入学してきました。ひばり中の先輩方は、とてもあいさつをしっかりとっていて、その素敵なお姿にあこがれたことを、今でもはっきりと覚えています。私はこのことがあったため、生活委員会に入り、あいさつ運動をしてひばり中の生徒全員があいさつをしてくれるように努力しました。

色々な困難がある中でも成長した、そのような1年に2020年はなりました。

#### B 組

●「休校期間のたくさんの時間をムダにせず、自分の成長につながるような取組をしたのは立派ですね。意思をもって生活委員会に入るなど、前向きな姿勢が素晴らしいです」

#### 『1年を振り返って』

もう今月いっぱい、様々なことがあった今年も終わろうとしています。そして、本当に1年間は短く、今も1秒1秒あっという間に過ぎていきます。そんな中、ぼくは新型コロナの件もあり、しれっと小学校を卒業し、しれっと中学校に入学し、しれっと部活や委員会など、忙しい学校生活を送っている感じがしています。しかし、振り返ってみると本当に濃い1年でした。

中学生になると小学生とは違い、生活リズムもだいぶ不安定になっていきます。塾も始まり、塾の日には帰ってきて風呂に入ったりして、気づけば12時を回ろうとしていたりもします。そんな1年だったからか、ぼくが一番ためになったのは、時間の効率的な使い方でした。ぼくは、小説、アニメが大好きなので、つつい家に帰るとそっちの方向に進んでしまいます。しかし、それではだめだと少し改善し、自分に最も効率良く、小説等も読めるように予定を決めました。最初は、全くといってもいいほど上手くいきませんでした。少しずつ変えて今ではだいぶ定着して、日々の生活に余裕をもつことができました。ついに、ぼくは半年以上かけ、大きく前進したのです。

しかし、ぼくは1年間、良かったとは思いません。時間の使い方も、最近定着したばかりだし、やり残したこともたくさんあります。だからこそ今年に残りと、そして来年こそ、楽しい、良かったと思えるように、もっと努力していきたいです。とはいえ、とても勉強になった年でもあるので、今の日常を楽しく過ごしていくのが一番だと、ぼくは考えています。

### C 組

- 「時間の効率的な使い方というのは、誰にとっても大切なテーマですね。中学生になって忙しさが増して大変だと思いますが、うまくやりくりしながら頑張っていきましょう」

#### 『1年間を振り返って』

私は、この1年大変な年であり、新鮮な年だった。2020という切りのいい数字の年の中、今年は様々なことを学んだ。

やはり今年一番印象に残ったのは、コロナウイルスという感染症の流行だ。そして、外出自粛の要請が出る中、小学校を卒業して中学生になり、2ヶ月遅れで学校がスタートした。しかし、学校に行けても、コロナウイルスが終息したわけでもなく、感染者は増え続け、中学校でも1年生のスキー教室や、3年生の修学旅行は中止となり、運動会や校外学習は規模を縮小して行われた。来年と違う生活で大変なことが多かったが、その分、いつも当たり前のように過ごしている毎日は、決して当たり前ではないということを学ぶことができた。

私は、この2020年という年は、大変で学ぶことが多い、ある意味特別な年だと思った。そして、まだまだコロナウイルスが終息することがなく、例年と違う新しい生活様式で過ごす中、家でできることを楽しんだり、物事をポジティブに考えたりして、来年も頑張りたいと思う。

### D 組

- 「コロナとの戦いは、まだまだ続いていきそうです。ただ、苦しい中だからこそ学べることがあるはずです。あたりに感謝する気持ちを、忘れないようにしたいですね」